



# 7月園だより

令和 6年 7月 1日  
目黒区立大岡山保育園園長

今年は例年より2週間遅い梅雨入りということでしたが、6月27日のプール開きは曇り空の中にも晴れ間が差し無事開催できました。0歳児クラスから5歳児クラスまで、どのクラスも初めてのプール遊び・水遊びで、嬉しさと楽しさの笑みが沸き上がっていました。

例年6月中旬から下旬の時期に近隣の中学校から職場体験学習として3日間、子どもたちと一緒に過ごす機会があります。今年は2年生の3名が参加し、2歳児クラスと4歳児クラスを経験しました。4歳児クラスでは自分たちと比較的年齢が近いお兄さんお姉さんが来てくれたことが嬉しく、中学生が入室すると園児の子どもたちは笑顔いっぱいに取り囲み、絵本を読んでもらったり、お絵かきをしたり、ままごとの相手をしてもらったりしました。中学生たちに感想を聞いてみると「子どもたちが抱っこやおんぶをしてきて疲れたけど、絵本の読み聞かせを聞いてくれて嬉しかった」という声や「ままごとみたいに、お茶碗を持ってきてくれてどうしたらいいかわからなかったけど可愛かった」と語ってくれました。職業体験として、肌で感じる学習ということでは教科書や動画などでは味わえない大切な経験といえます。保育園は子育て支援として地域の親子を支えていく役割もありますが、次世代の育成を担う地域の学校に貢献していく役割も同時にある事を感じています。

7月からはプールや水遊びをたくさん経験していきますが、今の時期ならではの楽しい活動体験になるよう安全に進めていきたいと思えます。

## 〈7月の予定〉

七夕集会  
中旬 身体計測 避難訓練



## 〈8月の予定〉

プールじまい  
中旬 身体計測 避難訓練

## 手作りおもちゃ

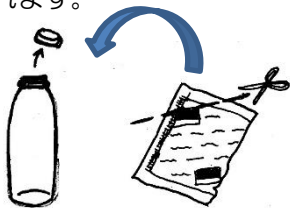
子どもたち（特に乳児クラス）に人気があり、見た目にも涼し気で手軽に出来る手作りおもちゃを紹介します。

### 《ペットボトルのスノードーム》

準備するもの

- ペットボトル容器  
(容量1.12ml程度の小さなタイプ)
- 保冷剤
- 中に入れるもの（ビーズやスパンコール、ラメ等）
- ボンドなどの接着剤
- ビニールテープ

1. 空のペットボトル容器の中にビーズやラメを入れ、保冷剤の中身（ジェル状態のもの）を入れます。



2. 次にペットボトル容器の中に水を入れて、緩さを調節します。



【完成品】



3.最後にペットボトルのふたを閉め、ふたが外れないようにボンドを塗って固定します。ボンドが乾いたら更にその上からビニールテープを巻いてしっかり固定します。

### おすすめポイント

- ☆保冷剤のジェルの量や水の量によって緩さが変わり、ビーズやラメの動きも変わってくるので、いろいろと試してみると面白いです。
- ☆中に入れる水を淡い色の色水にすることもおすすめです。

※遊ぶ時には、ふたが開いて誤飲しないよう、気を付けてください。

## 感触遊び（乳児クラス）



### いちご組 0歳児クラス 『ぷにぷに』

絵の具を使った感触遊びであじさいを作りました。あじさいの形に切った紙の上に絵の具を何色かのせ、ビニール袋に入れ、封をして床に貼りました。床にあることで、座ったり腹ばいになったり、どんな姿勢でも楽しめます。月齢の大きい子たちは”これはなんだろう？”と、近付き”さわっているの？”という表情で保育士の顔を見ます。保育士がちゃんと触ってみせると、同じように絵の具を袋の上から指先で触り、確かめている様子です。指先で繰り返し触っているうちに、手のひらでもたたいてみたり、なでてみたりと色々な方法で楽しんでいました。腹ばいの子たちも”なんだろう？”と近付いてくるので、保育士がたたいて見せると、なめようとしていたり、保育士と同じようにたたいてみたりして試しています。それぞれのたたき方や触り方で、世界にたったひとつの一人ひとり違った模様の作品となり、いちご組に素敵なあじさいが咲きました。



### もも組 1歳児クラス 『泥んこ遊び』

園庭に出て泥んこ遊びをしていると、友達や保育士が遊ぶ様子を遠くから見ている子がいました。保育士がそばに行き、近くにあった小さな水たまりに足を入れてみると、その子も真似をしてそうっと水たまりに片足を入れてみえています。保育士と目が合い「楽しいね」と声をかけるとニコッと笑い、今度は両足で水たまりに入ります。そして泥の感触に慣れてくると四つ這いで泥をかき集め、泥に自分の指の跡がついていることに気づいたり、集めた泥の上でジャンプを試みたりとダイナミックに楽しんでいました。ジャンプをして泥水のしぶきが上がると、友だちや保育士と大笑いしています。

暑い時期ならではの泥や水の感触を通し、冷たさや気持ち良さ、不思議さを保育士も一緒に楽しんでいきたいです。



### りんご組 2歳児クラス 『小麦粉粘土』

保育士が「パン作ろうかな～」と粘土を丸めたり、つぶしたりして成形していると、それを見ていた子どもたちが同じようにちぎったり捏ねたり、つぶしたりしながら「パン作ってるの」「おまめのパン」「ジャムのパン」と言いながら思い思いのパンを作っています。その横で、握りこぶしほどの粘土の塊から小さな粒をたくさん作っている子がいました。「なにパン作ってるの？」と保育士が聞くと「おこめつくってるの」と言いながら、その沢山の粒を集めて山にしています。指先を上手に使って小さく丸めた粘土は、本当にお米みたいでした。

また、散歩に行った次の日には「みみず～、昨日公園で見たね。によろによろ～って長いの」と言って長く伸ばしたり、「これはダンゴムシ。まるまってねんねしてるの」と言いながら丸めて、自分たちが公園で見た虫を思い描きながら、作って並べる子もいました。小麦粉粘土のもちもちの感触を楽しみながら、それぞれがイメージしたものを形にする楽しさも感じているようです。小麦粉粘土だけでなく、片栗粉、泥、水、氷など、これからもいろいろな感触に触れ楽しんでいきたいと思います。

